

令和5年度第2回 大田区環境審議会

令和6年2月16日
環境清掃部環境計画課

令和5年度第2回大田区環境審議会

<次第>

1 開会

2 報告

(1) 基礎調査結果報告について

(2) 専門部会について

3 議題

(1) 第2次大田区環境基本計画の骨子案について

(2) 答申(案)について

※【参考配布】「大田区の環境」令和4年度実績報告(確定)について

4 閉会

<開催日時>

日時 令和6年2月16日(金)午後2:00~4:00

会場 大田区役所9階902会議室+オンライン(Webex)

- 配布資料 -

本紙

資料1 大田区環境基本計画の策定に係るアンケート調査

資料2 大田区における主要な環境課題及び次期計画策定の方向性について

資料3 第2次大田区環境基本計画骨子案

資料4 答申(案)について

- 参考資料 -

参考資料1 「大田区の環境」令和4年度実績報告について

2 報告

（1）基礎調査結果報告について

（区民アンケート調査概要）

項目	内容
調査目的	次期計画の検討にあたって、区民の意見を参考に施策等を検討するため
調査項目	大田区の環境に対する関心度・満足度、環境問題における分野別の認知度及び日常生活の中での取組状況に関する設問など
対象	18歳以上の大田区在住者
調査方法	郵送による配布・回収、WEB回答
抽出方法	住民基本台帳より無作為抽出
配布数	2,000部
回収数	624部（31.2%）
実施時期	2023年11月2日～11月27日

詳細は、**（資料1）大田区環境基本計画の策定に係るアンケート調査を参照**

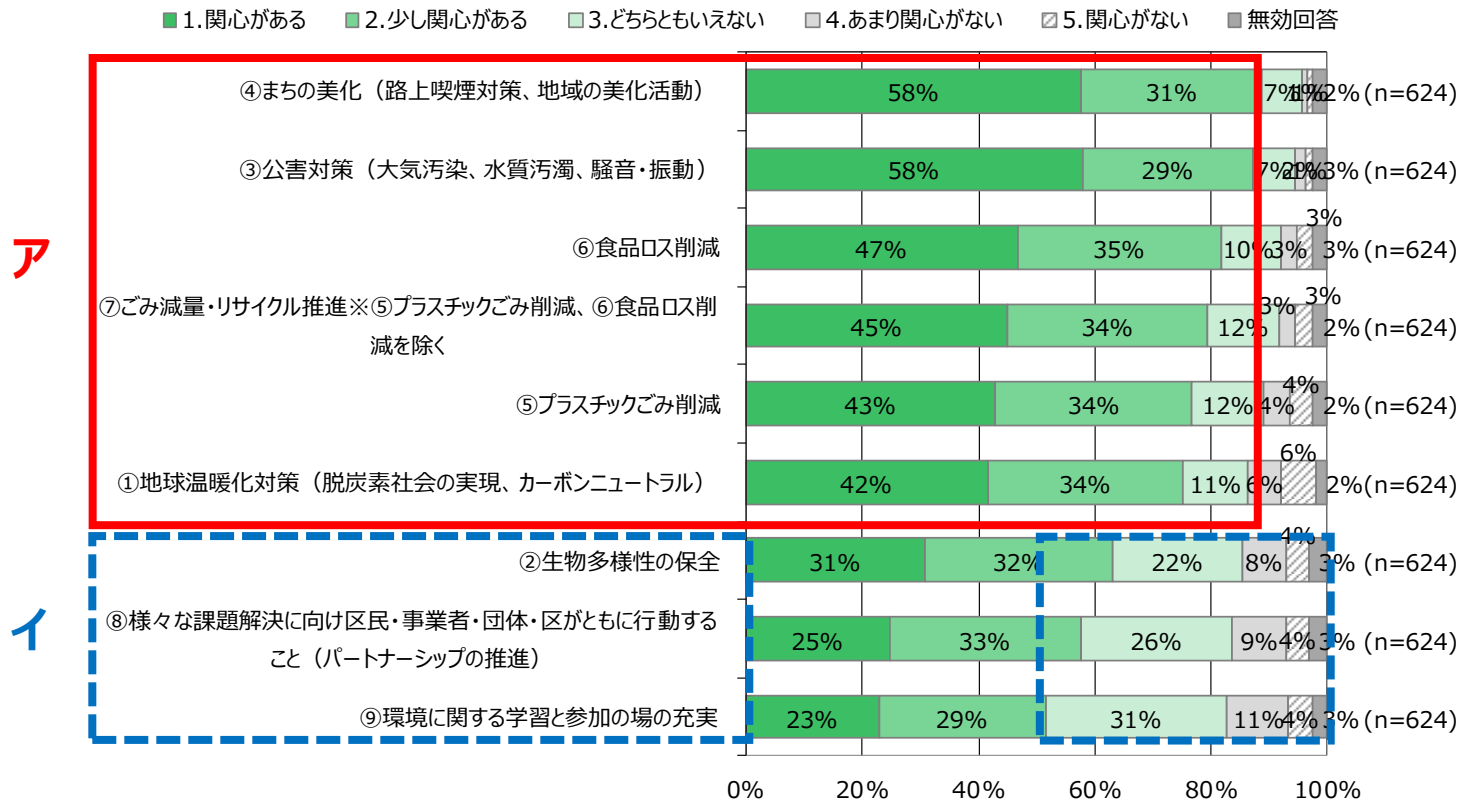
2 報告

(1) 基礎調査結果報告について

(主な調査結果①) 大田区の環境課題に対する関心度

ア 多くの項目で関心度は、70%を上回る。

イ 一方で「②生物多様性の保全」、「⑧パートナーシップの推進」、「⑨環境学習」に関する項目は、他の項目と比較して関心が低く、「どちらともいえない」と回答した割合が高い。



2 報告

(1) 基礎調査結果報告について

(主な調査結果②) 環境問題 (各分野) に関する区民の取組状況

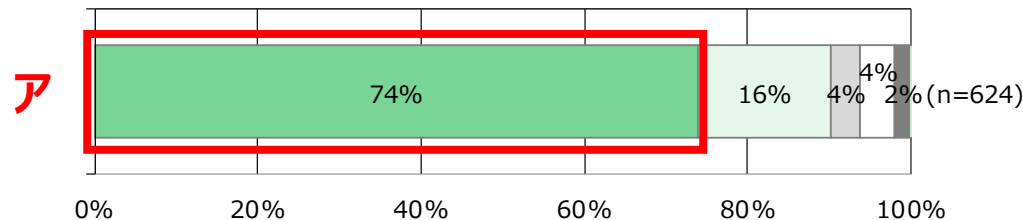
ア 【ごみ減量・リサイクル】は、74%が「取り組んでいる」と回答。

イ 【地球温暖化】、【生物多様性】は、約半数が「これから機会があれば取り組みたい」と回答。

また、約2割程度が「わからない」と回答

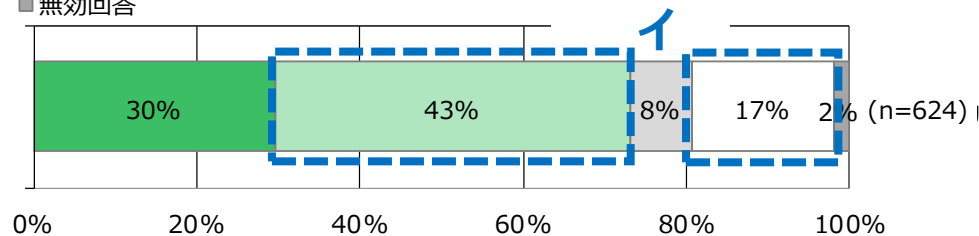
【ごみ減量・リサイクル (サーキュラーエコノミー)】

■ 1. 取り組んでいる □ 2. これから機会があれば取り組みたい □ 3. 取り組む予定はない □ 4. わからない ■ 無効回答



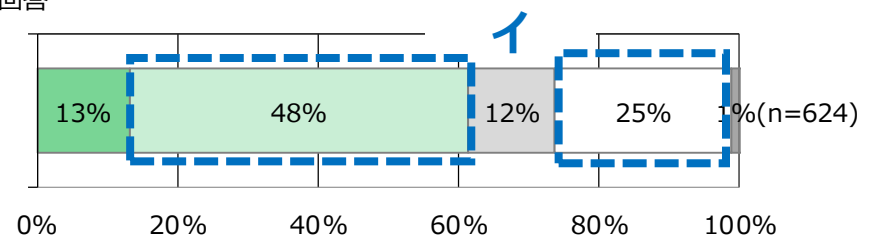
【地球温暖化 (カーボンニュートラル)】

■ 1. 取り組んでいる □ 2. これから機会があれば取り組みたい □ 3. 取り組む予定はない □ 4. わからない ■ 無効回答



【生物多様性 (ネイチャーポジティブ)】

■ 1. 取り組んでいる □ 2. これから機会があれば取り組みたい □ 3. 取り組む予定はない □ 4. わからない ■ 無効回答



2 報告

資料 1 (抜粋)

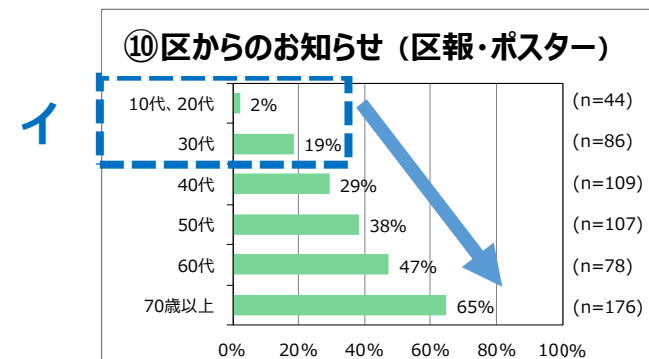
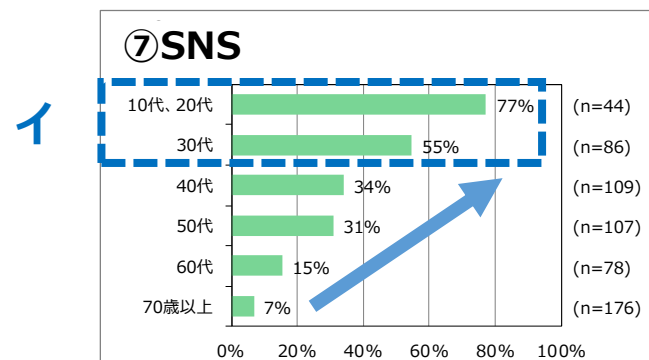
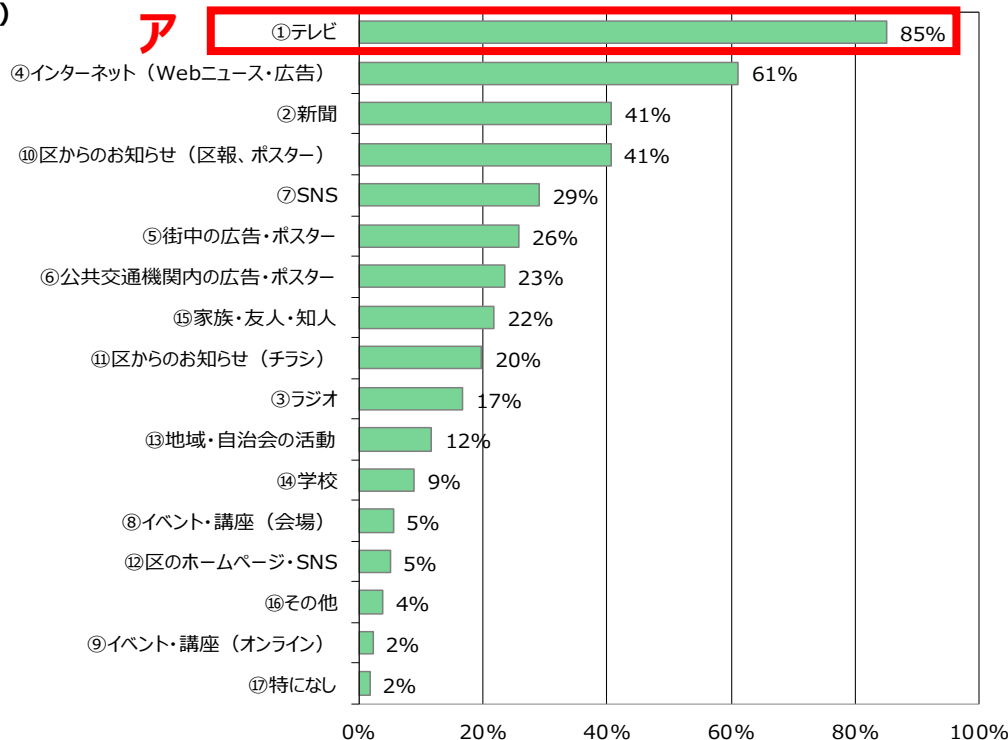
(1) 基礎調査結果報告について

(主な調査結果③) 環境に関する情報の取得方法

ア 「①テレビ」と回答した割合が最も高く、媒体によっては世代でバラつきが見られ、情報元が多様化。

イ 特に「⑦SNS」は若い世代で割合が高く、「⑩区からのお知らせ（区報、ポスター）」では、若い世代が20%を下回り、世代が上がるにつれて高い傾向。

(n=607)



2 報告

資料1 (抜粋)

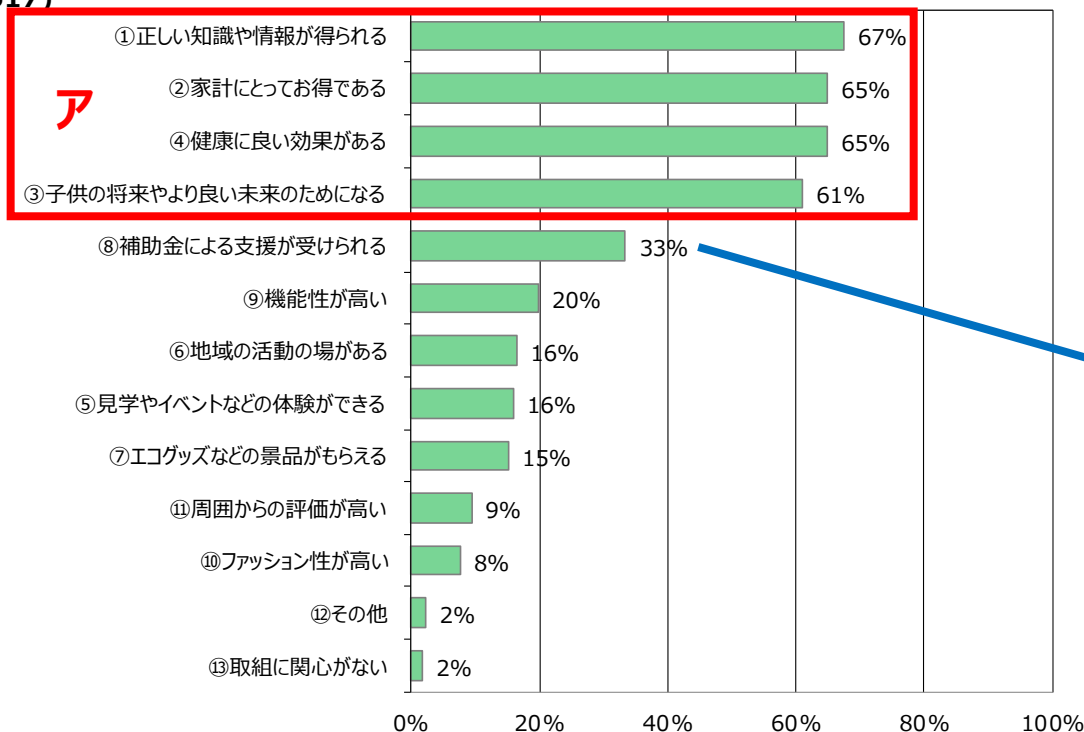
(1) 基礎調査結果報告について

(主な調査結果④) 環境に配慮した行動 (どんな理由「メリット、機会、支援」があれば)

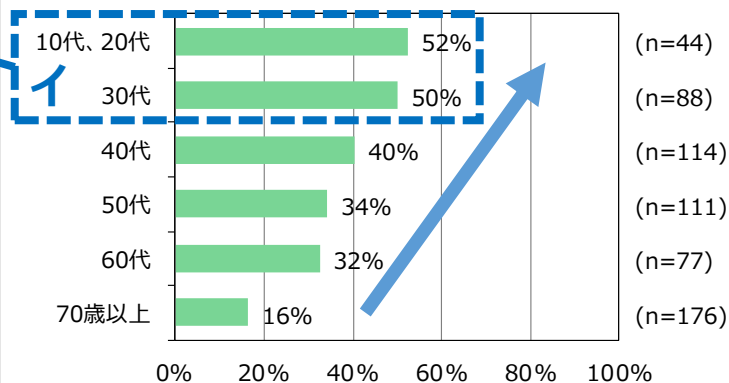
ア 上位の4項目は、回答した割合が60%を上回る。

イ 「⑧補助金による支援が受けられる」は若い世代で高い傾向。

(n=617)








⑧補助金による支援が受けられる



2 報告

(2) 専門部会について

①大田区における自然共生のあるべき姿（＝目標）について

メインゴール	大田区環境版SDGs	副次的に貢献するSDGs (サブゴール)
 <p>15 陸の豊かさも 守ろう</p>	<p>大田区の貴重な自然と生き物を 未来に残し、自然共生社会を目 指そう。</p>	   

※大田区環境アクションプラン「基本目標CとSDGsの関係」より

<意見交換の内容>

自然の少ない都市部において、どのようにすれば生物多様性に貢献することができるか。

<主な意見>

①	情報へのアクセス向上	インターネットやアプリ、SNS等を活用した普及啓発の強化
②	さらなる啓発	区の既存の施設との連携やキャンペーンによる普及啓発
③	公民連携、行政間連携	国・都や区の関連団体及び区内事業者との連携の強化

2 報告

(2) 専門部会について

②大田区における森林環境譲与税の活用方法について

年度	活用事業	充当額（円）	備考
令和元年度	公共施設整備資金 積立基金積立金	27,269,000	公共施設整備における 木材利用への充当
令和2年度		57,946,000	
令和3年度		59,420,000	

※大田区ホームページより

<意見交換の内容>

他区での活用事例を参考に大田区の地域特性に合った活用方法の方向性を検討する。

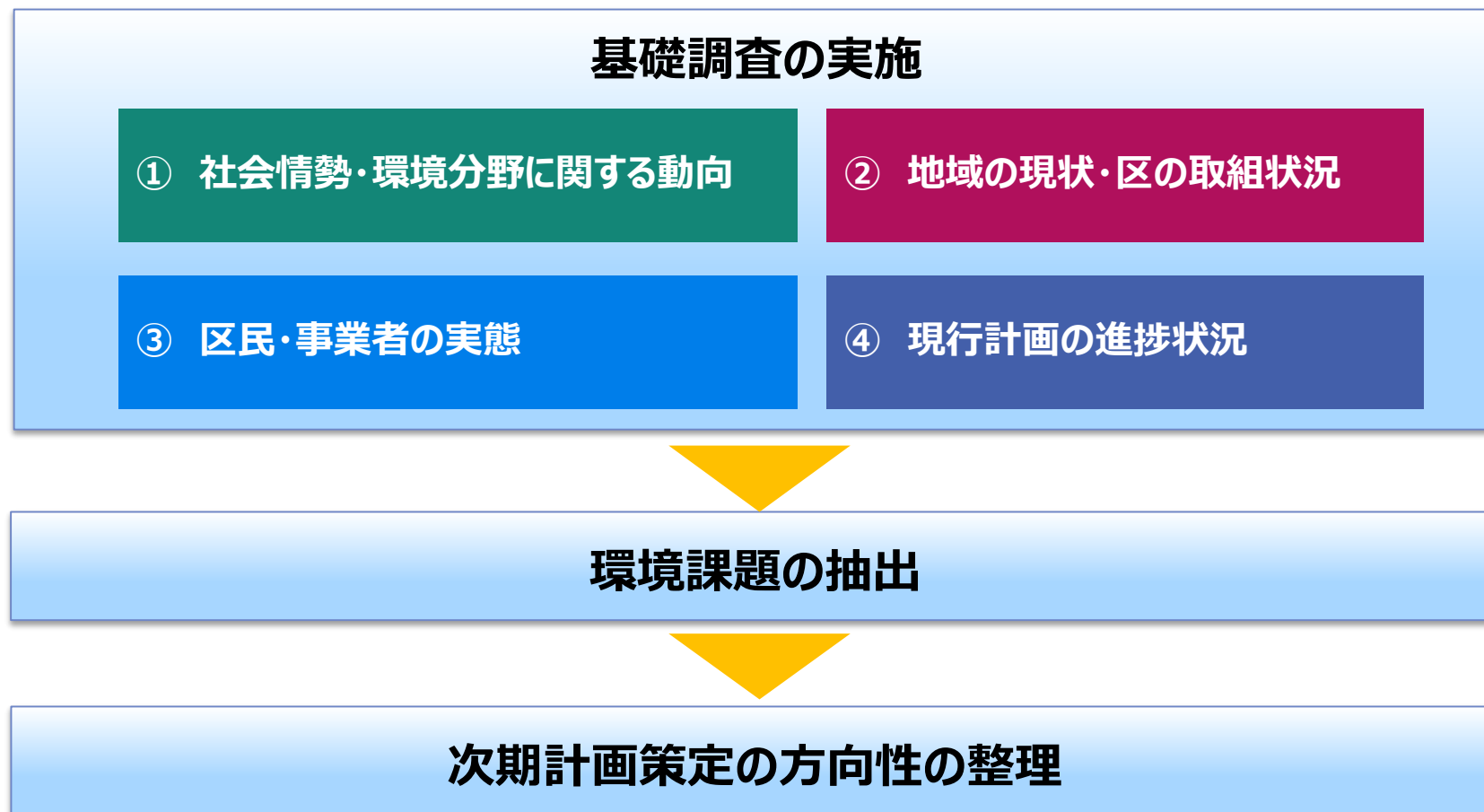
<主な意見>

- | | | |
|---|---------|---|
| ① | 用途について | 緑化推進の基金等での活用
区の事業における課題解決のための活用
友好都市等の協定先の森林保全 など |
| ② | 取組の見える化 | 木のプレート等で税の用途を表示することで、区民への取組
の周知や普及啓発につなげる。 |

3 議題

(1) 第2次大田区環境基本計画の骨子案について

＜次期計画骨子案の策定にあたって＞



3 議題

資料 1 (抜粋)

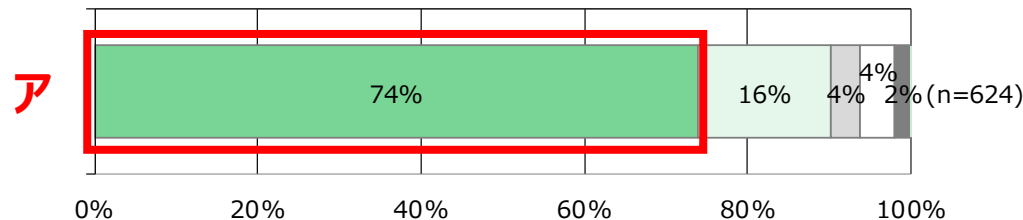
(1) 第2次大田区環境基本計画の骨子案について

<次期計画骨子案の策定にあたって>

環境問題は**複雑多様化し相互に関連している**ことから、これまでの5つの柱（基本目標）ごとの取組ではなく、**分野横断的かつ施策横断的な取組による同時解決**が必要。

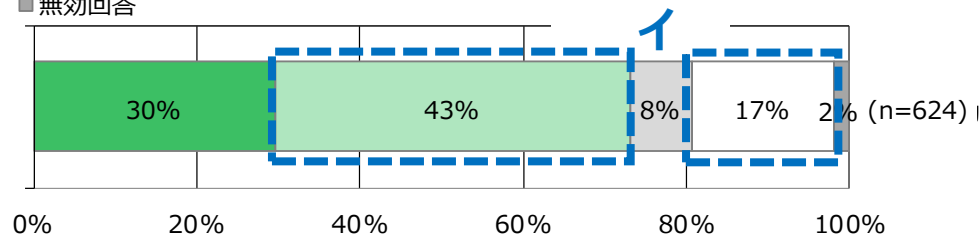
「再掲」(主な調査結果②) 環境問題(各分野)に関する区民の取組状況 【ごみ減量・リサイクル(サーキュラーエコノミー)】

■ 1. 取り組んでいる □ 2. これから機会があれば取り組みたい □ 3. 取り組む予定はない □ 4. わからない ■ 無効回答



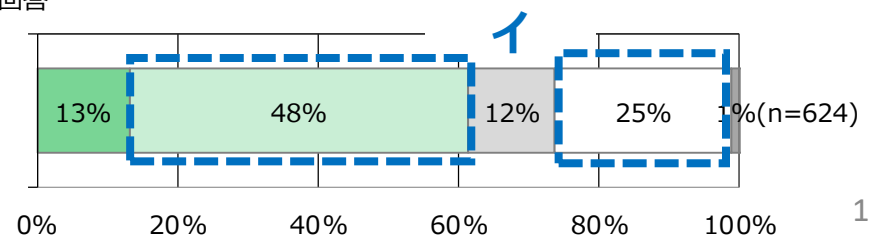
【地球温暖化(カーボンニュートラル)】

■ 1. 取り組んでいる □ 2. これから機会があれば取り組みたい □ 3. 取り組む予定はない □ 4. わからない ■ 無効回答



【生物多様性(ネイチャーポジティブ)】

■ 1. 取り組んでいる □ 2. これから機会があれば取り組みたい □ 3. 取り組む予定はない □ 4. わからない ■ 無効回答



3 議題

(1) 第2次大田区環境基本計画の骨子案について

資料3 (抜粋)

大田区が目指す環境像（ビジョン）を実現するため、パートナーシップを礎として**3つの目標達成**を目指す

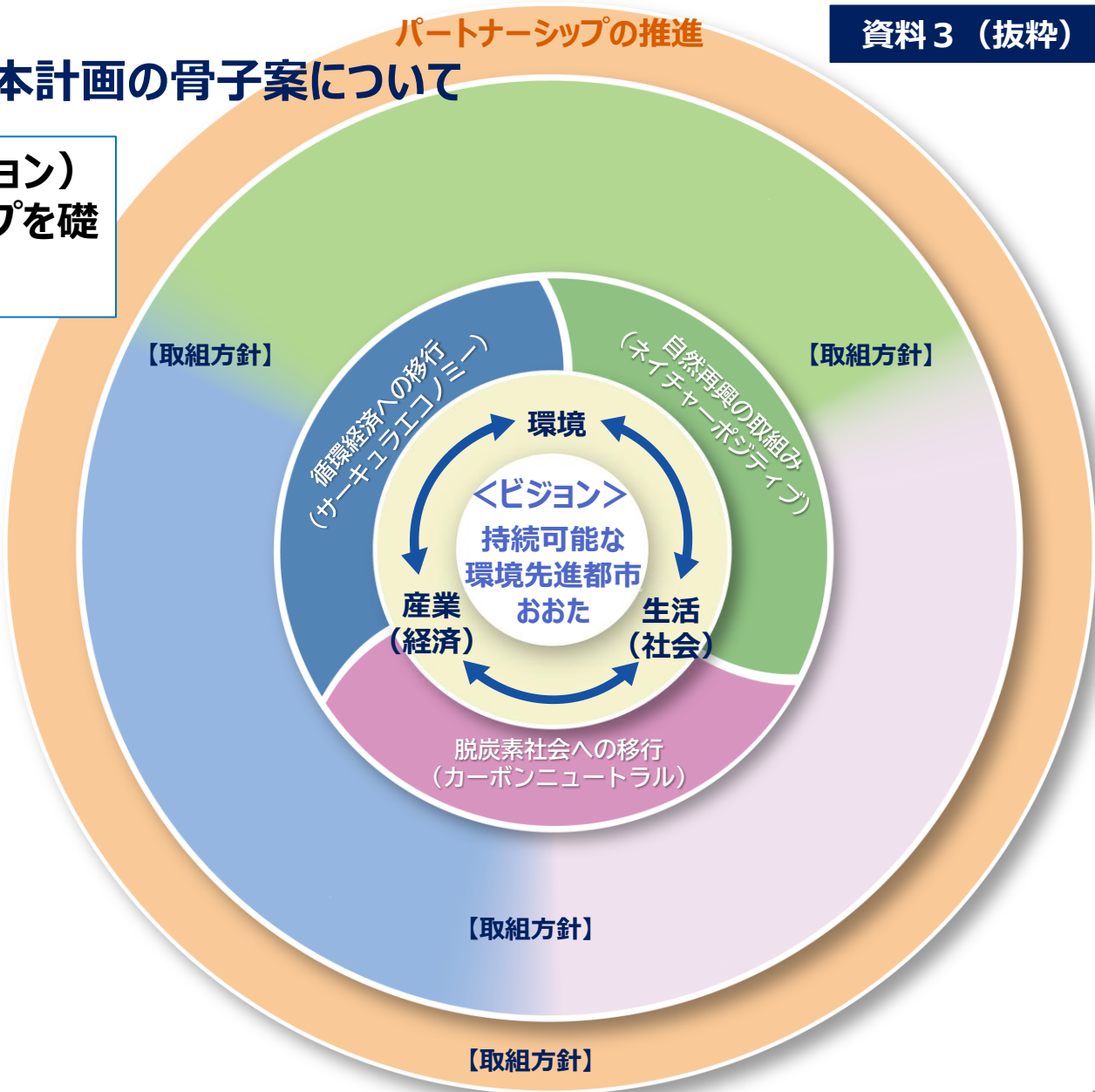
パートナーシップの推進

持続可能なまちへの移行を実現する3つの目標達成

【目標達成】

- 脱炭素社会への移行
(カーボンニュートラル)
- 自然再興の取組
(ネイチャーポジティブ)
- 循環経済への移行
(サーキュラーエコノミー)

これら3つの目標達成を通して、環境・産業・生活の好循環を実現する「持続可能な環境先進都市おおた」を構築していく。



3 議題

資料2 (抜粋)

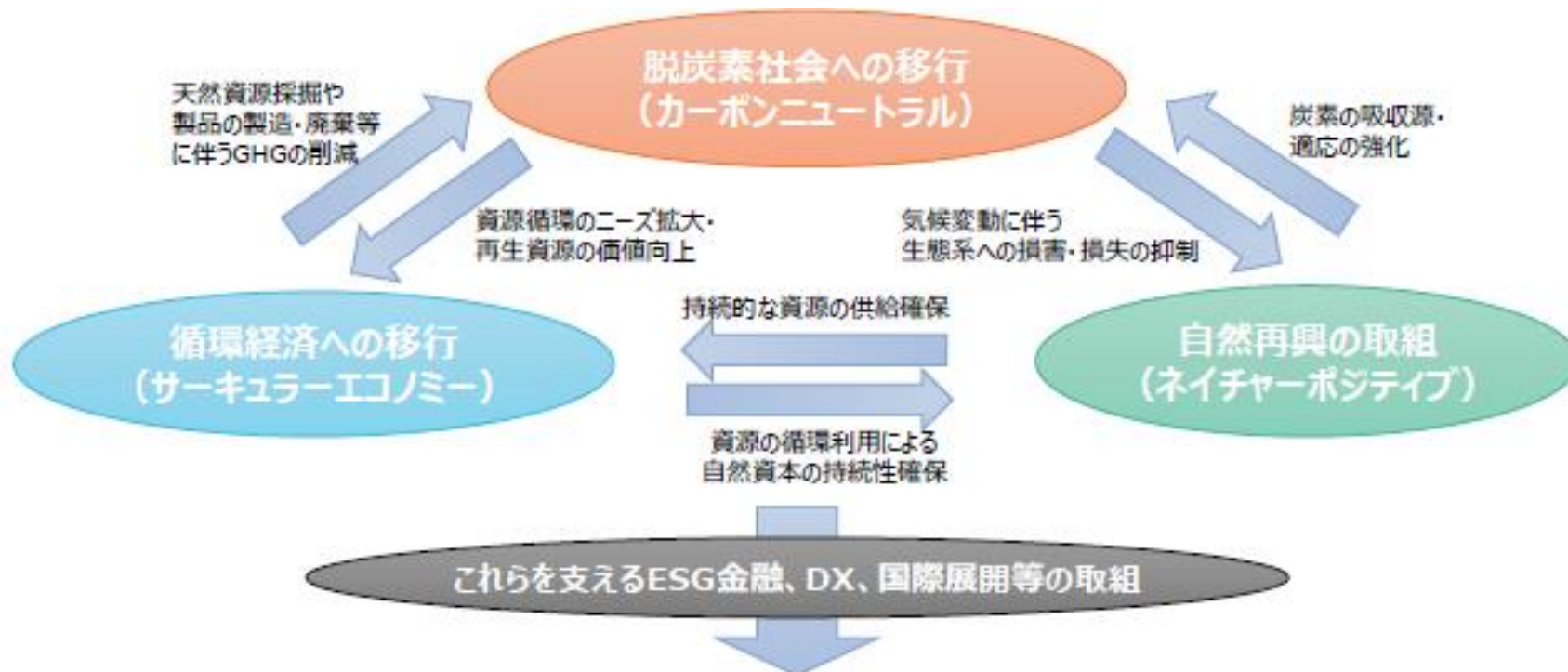
(1) 第2次大田区環境基本計画の骨子案について

【参考資料】サステナブルな経済社会の実現に向けた統合的アプローチの重要性

国（環境省）資料より

持続可能性を巡る社会課題の解決と経済成長を同時に実現していくため、
分野横断的・施策横断的な**統合的アプローチが重要**

出典：環境省 第六次環境基本計画に向けた基本的事項に関する検討会（第2回）「サステナブルな経済社会の実現に向けた統合的アプローチの重要性」より



希望や活力ある未来につながる**地域循環共生圏** (=ローカルSDGs) の創造

3 議題

(1) 第2次大田区環境基本計画の骨子案について

施策体系整理の方向性

- 現行計画の5つの基本目標は、目的を共有し、相互に関連し合うものも多数ある。
- 3つの達成目標をもとに再整理し、わかりやすく区の環境に関する施策の全体像を示す。
- 環境・経済・生活の好循環を目指し、環境基本計画として主体的に取り組んでいく施策・取組を今後体系づけていく。



**脱炭素社会への移行
(カーボンニュートラル)**
～温室効果ガス削減～

目標達成指標 (KGI)

【取組方針】 ※現行計画基本目標より

- 脱炭素ライフスタイルへの転換 (B-1)
- 脱炭素まちづくりの推進 (B-2)
- 区役所による率先行動 (B-3)
- 3 R + Renewableの推進 (E-1)
※廃プラスチック、食品ロス
- さらなるごみの適正処理推進 (E-2)



**自然再興の取組み
(ネイチャーポジティブ)**
～生物多様性への負荷削減～

目標達成指標 (KGI)

【取組方針】 ※現行計画基本目標より

- まちを彩り心を潤す緑事業 (C-1)
- 水と緑のネットワークの構築 (C-2)
- 生物多様性の保全・再生 (C-3)
- 美しい都市環境の創造 (D-1)
- 環境保全対策 (D-2)



**循環経済の移行
(サーキュラーエコノミー)**
～必要不可欠な資源のより良い管理～

目標達成指標 (KGI)

【取組方針】 ※現行計画基本目標より

- 美しい都市環境の創造 (D-1)
- 環境保全対策 (D-2)
- 3 R + Renewableの推進 (E-1)
※廃プラスチック、食品ロス
- さらなるごみの適正処理推進 (E-2)



パートナーシップの推進

【施策方針】 ※現行計画基本目標より

- 環境にやさしいライフスタイルへの転換 (A-1)
- 区民等・事業者・行政の連携強化 (A-2)
- 活動意欲の創造 (A-3)

・ B～Eの各基本目標における普及啓発等の事業

3 議題

(1) 第2次大田区環境基本計画の骨子案について

【参考資料】現行計画（大田区環境アクションプラン）の施策との関係

基本目標	取組方針	施策	パートナーシップ	カーボンニュートラル	ネイチャーポジティブ	サーキュラーエコノミー	
基本目標A 環境課題の解決に向けたパートナーシップの推進	A-1 環境にやさしいライフスタイルへの転換	(1) 環境意識の醸成	○	○	○	○	
		(2) 環境情報の発信	○	○	○	○	
		(3) 次代を担う人材の育成	○	○	○	○	
	A-2 区民等・事業者・行政の連携強化	(1) 自治会・町会、団体等に向けた取組支援	○	○	○	○	
		(2) 産業分野への取組支援	○	○	○	○	
		(3) 主体間連携の推進	○	○	○	○	
A-3 活動意欲の創造	(1) 活動意欲や企業価値の向上	○	○	○	○		
基本目標B 気候変動緩和策の推進（大田区地球温暖化対策実行計画（区域施策編））	B-1 脱炭素ライフスタイルへの転換	(1) 区民の行動変容の促進（区民運動「おおたクールアクション」）	○	○	○	○	
		(2) 事業者の行動変容の促進（おおたクールアクション推進連絡会）	○	○	○	○	
		(3) 3R + Renewableの推進（後掲）	○	○	○	○	
	B-2 脱炭素まちづくりの推進	(1) 建築物の脱炭素化の促進	○	○	○	○	
		(2) 移動手段の脱炭素化の促進	○	○	○	○	
		(3) 再生可能エネルギーの導入拡大	○	○	○	○	
	B-3 区役所による率先行動	(1) 大田区役所エコオフィス推進プランの推進	○	○	○	○	
		(2) 公共施設の脱炭素化の促進	○	○	○	○	
		(3) 庁有車から排出される温室効果ガスの削減	○	○	○	○	
基本目標C 自然共生社会の構築（大田区生物多様性地域戦略）	C-1 まちを彩り心を潤す緑事業	(1) 緑の普及啓発	○	○	○	○	
		(2) 緑の育成・保護	○	○	○	○	
	C-2 水と緑のネットワークの構築	(1) 緑の基盤づくり	○	○	○	○	
		(2) 水の環境軸の形成	○	○	○	○	
	C-3 生物多様性の保全・再生	(1) 生物多様性の理解促進	○	○	○	○	
		(2) 自然・生物調査	○	○	○	○	
基本目標D 快適で安全な暮らしの実現	D-1 美しい都市環境の創造	(1) 歩きたばこ・路上喫煙対策	○	○	○	○	
		(2) 地域美化活動の推進	○	○	○	○	
		(3) 景観計画の推進	○	○	○	○	
	D-2 環境保全対策	(1) 騒音・振動調査	○	○	○	○	
		(2) 大気環境の保全対策	○	○	○	○	
		(3) 水環境の保全対策	○	○	○	○	
	基本目標E 循環型社会の構築	E-1 3R + Renewableの推進	(1) ごみ減量・3R推進のPRの充実	○	○	○	○
			(2) リサイクル活動等の推進	○	○	○	○
			(3) プラスチックに関する取組	○	○	○	○
(4) 食品ロスの削減			○	○	○	○	
(5) 資源循環学習教室等の実施			○	○	○	○	
E-2 さらなるごみの適正処理推進		(1) 有用金属の再資源化	○	○	○	○	
(2) 徹底した分別によるリサイクルの推進	○	○	○	○			
(3) 事業者に対する指導強化	○	○	○	○			

追加
予定

3 議題

(1) 第2次大田区環境基本計画の骨子案について 〈次期計画における進捗管理指標 整理の方向性〉

課題

- ▶ 現行計画の進捗管理指標は、「KGI(目標達成指標)」、「KPI(業績評価指標)」、「モニタリング」の3つの指標が混在し、計画の進捗状況の把握が難しい。
- ▶ **各事業のKPIが進捗管理指標となっているため、年次で事業の新陳代謝が図れない。**

現行計画

指標

基本目標

- A : 環境課題の解決に向けたパートナーシップの推進
- B : 気候変動緩和策の推進
- C : 自然共生社会の構築
- D : 快適で安全な暮らしの実現
- E : 循環型社会の構築

KGI
(目標達成指標)

KPI
(業績評価指標)

モニタリング

具体的な成果

- 区民満足度・関心度の向上、行動の変化
- 温室効果ガス排出削減、ごみ排出削減
- 生物多様性の豊かさ向上
- ごみ排出削減 等

事業の結果(プロセス)

- イベント実施回数、参加者数
- 設備等助成件数
- 施設整備件数 等

現状の把握

- 世論調査
- 実態調査
- 定点観測 等

3 議題

(1) 第2次大田区環境基本計画の骨子案について

【参考資料】現行計画（大田区環境アクションプラン）における指標と区分

基本目標	指標	区分
A	①子ども向け環境学習（出前授業）の実施回数	KPI
	②区民・事業者・団体への活動支援件数（後援・共催、講師派遣等）	KPI
	③主体間連携による取組に賛同した団体・事業者数（おおたクールアクション賛同団体数、食べきり応援団登録事業者数等）	KPI
	④環境保全技術分野の新製品・新技術コンクール受賞数	モニタリング
	⑤区の助成事業を活用し環境負荷の低減に取り組んだ企業数（ものづくり企業立地継続補助金等）	KPI
B	①省エネ行動に取り組む区民の割合	KGI
	②大田区の温室効果ガス排出量の削減	KGI
	③大田区役所の温室効果ガス排出量の削減	KPI
C	①「緑の多さ」に満足している区民の割合	KGI
	②公共施設緑化実績	KPI
	③区民1人当たりの公園の標準面積	KGI
	④自然環境調査に参加する区民の数	KPI
	⑤自然観察会の参加者数(応募者数)	KPI
D	①喫煙に関する苦情・相談件数	モニタリング
	②区と連携して地域美化活動を実施した自治会・町会数	KPI
	③一般局における光化学オキシダント濃度の年平均値	モニタリング
	④道路交通騒音の環境基準達成率	KGI
	⑤呑川（山野橋・底層）の溶存酸素量	KGI
E	①区民1人1日当たりのごみと資源の総量	KGI
	②区民1人1日当たりの区収集ごみ量	KGI

・3つの指標が混在
・各事業のKPIが、
指標となっている。

3 議題

(1) 第2次大田区環境基本計画の骨子案について 〈次期計画における進捗管理指標 整理の方向性〉



※年次で事業の新陳代謝を図る。※

3 議題

(1) 第2次大田区環境基本計画の骨子案について

③今後の次期計画策定スケジュール

